

平成27年度島根大学大学院

教育学研究科入試問題（Ⅱ期）

《教育実践開発専攻 臨床心理コース》

専門科目（臨床心理学）

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 2枚、解答用紙 3枚、下書き用紙1枚である。

指示があってから確認し、解答用紙と下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。

- 3 解答は、解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙は、持ち帰ること。

受験番号

## 《臨床心理コース》

### 専門科目 問題

---

1 以下の文章を読み、問いに答えなさい。

「態勢」(Position)とは、乳児の内的世界の状況を表す精神分析的発達理論の概念である。「態勢」には、生後4ヶ月ころまでの乳児の体験する(あ)態勢と、生後4ヶ月ころから始まる(い)態勢の二つがあり、これらは不可逆的なものではなく、こころの状態に応じて終生移行しうる関係にあるといわれている。

前者(あ)態勢にある乳児は、活発な幻想に基づくサド・マゾヒスティックな対象関係を乳房との間に営んでおり、乳児は対象からの迫害不安を防衛するためにさまざまな(a)原始的防衛機制を働かせている。後者(い)態勢は、乳児の内的世界は部分対象から全体対象へと統合が進み、対象への(b)アンビヴァレンスが体験されるようになる。この際、対象に対する罪悪感や(c)躁的防衛が作動するが、対象への償いの念が勝れば情緒が成熟していく。

問1.

空欄(あ)(い)にあてはまる言葉を書きなさい。

問2.

下線(a)~(c)の用語を説明しなさい。

問3.

態勢(position)の概念を唱えた人物名を書きなさい。

2 インテーク面接(初回面接)について、以下の問いに答えなさい。

問1.

インテーク面接の目的について、いくつか挙げなさい。

問2.

インテーク面接において必要となる情報について思いつく限り挙げなさい。

問3.

インテーク面接を行う際に配慮すべき点について挙げなさい。

3 以下の事例をふまえた上で設問に答えよ。

<事例>

あなたはAくん(9歳、小学4年男児)のプレイセラピーを担当することになりました。

Aくんは元々苦手な事柄が多い子なのですが、「学校では、ちゃんとしないといけない」「人と違っはいけない」と思い過ぎるところがあり、苦手な学校行事や、苦手な給食のメニューが出る日には、お母さんにしきりに不安を訴えました。また、友だちとの関わりで嫌なことがあっても、「No」と言えないAくんはストレスを溜めることが多く、お母さんに泣いて不安を訴えるのが長時間にわたるようになり、来談に至りました。

プレイセラピーでゲームをしていると、Aくんは自分に有利なルールを強引に作って連勝したり、闘いごっこではセラピストに対して強く叩いてきたりする行動が見られるようになりました。そして、だんだんエスカレートしていきました。正直なところ、Aくんのキックやパンチは本当に痛いので、あなたはこれ以上Aくんを受け止めきれないような気持ちがしてきました。セラピストであるあなたは、a. Aくんを受け止めたい気持ちと、攻撃を制限することも重要なのではないか、という気持ちの間で葛藤するようになりました。

問1. 下線 a.について

子どもの攻撃行動への対応は、個々のケースによって判断が分かれる場合があります。Aくんに対して、攻撃行動を受け止めた方がいいと判断した場合、(1)そのように判断する理由について述べなさい。また(2)受け止めることによって起こりうるデメリットについて、思いつく限り列挙しなさい。

問2. 下線 a.について

また、Aくんの攻撃行動を制限した方がいいと判断した場合、(1)そのように判断する理由について述べなさい。また(2)制限することによって起こりうるデメリットについて、思いつく限り列挙しなさい。

問3.

このことについて相談したスーパーバイザーの助言により、本ケースでは攻撃行動を制限することになりました。その直後の闘いごっこの場面で、今まさに叩いてこようとするAくんに対して、あなたならどのように対応しますか？実際の場面を想定し、具体的な文言を口語体で述べなさい。